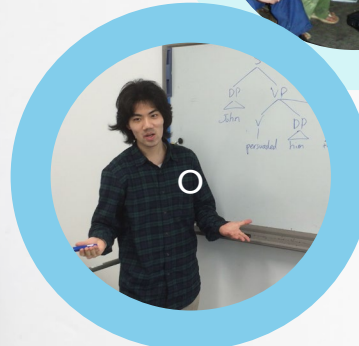
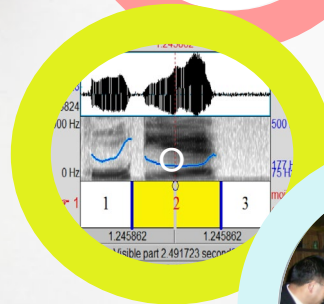
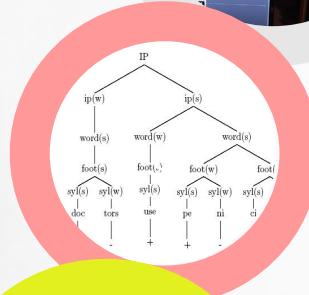
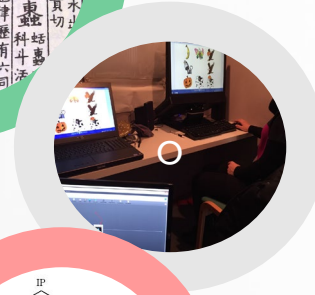


東京大学
教養学部教養学科
超域文化科学分科

学際言語科学コース 2020年度 進学ガイダンス

質疑応答セッションはzoomを使いオンラインで開催 ⇒ [参加申込](#)



今年度の質疑応答はオンラインで！

- ・オンラインでの質疑応答までに知っておいてほしいこと

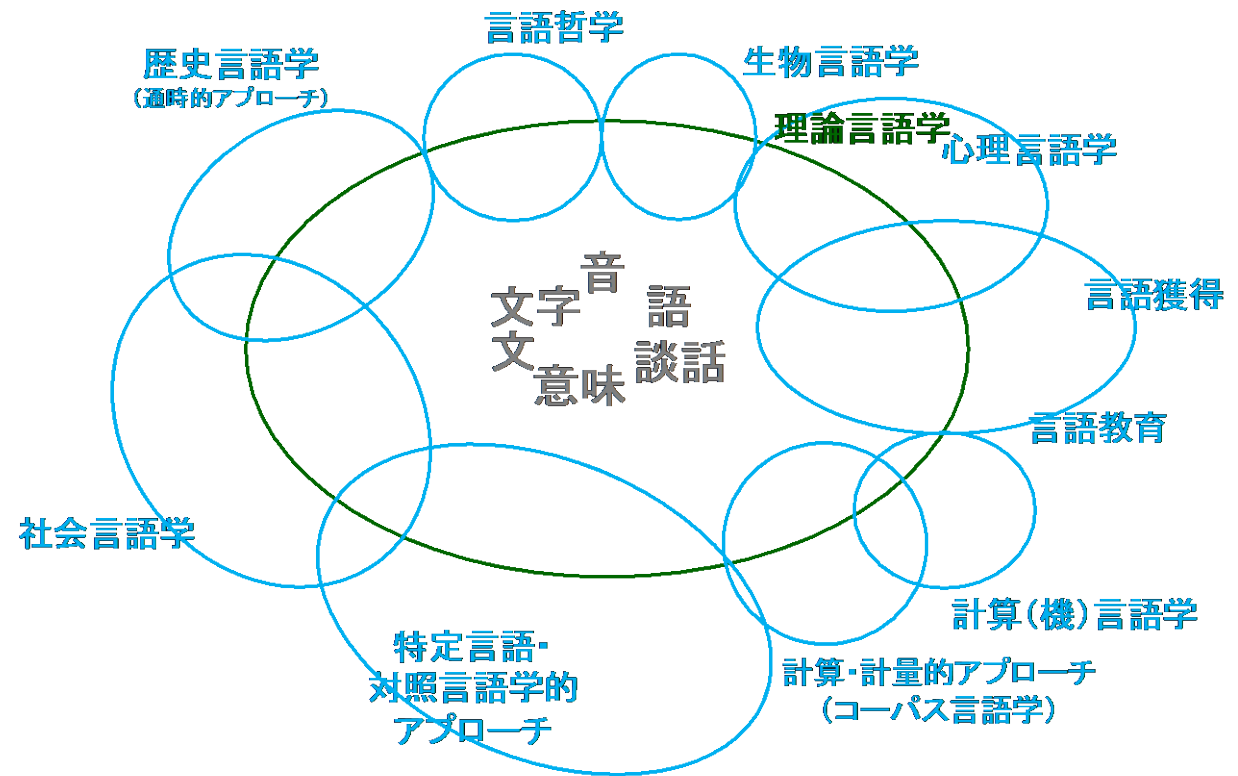
1. 本コースの特色 ⇒ 3~14ページ
 - ・教育指導体制 ⇒ 3~9ページ
 - ・開講科目 ⇒ 10~12ページ
 - ・卒業後の進路 ⇒ 13ページ
 - ・他の学内組織との連携 ⇒ 14ページ
2. 利用できる施設・設備 ⇒ 15~18ページ
3. 関連するプログラムの紹介 ⇒ 19ページ
4. 質疑応答の日時と参加方法 ⇒ 22ページ

本コースの特色 教育指導体制

- 多彩なスタッフとコースとしての守備範囲の広さ
 - 研究対象そのもののバラエティー、理論的枠組み、研究手法の幅広さが学際言語科学コースの最大の強みのひとつです。ことばに関係するどんな側面に関心を持っても、教員や先輩たちの中で必ず誰かが興味を示し、様々なアドバイスをくれるでしょう。
 - 本コースでは、これから言語学を始める人のためにも幅広い選択肢を提供できる授業展開を意識しています。異なったアプローチを比較しながら、自分の興味にフィットする切り口を見いだして下さい。

本コースの特色 教育指導体制

- スタッフの専門分野
 - 20名以上の豊富なスタッフ！
 - 理論研究からフィールドワーク、実験、応用系まで多様なアプローチをとる層の厚いチームです。



本コースの特色 教育指導体制

- 様々な言語の専門家が集結
 - ヨーロッパと東アジアを中心として、もちろん日本語も含めた、多くの言語の専門家の集団です。取り扱う言語のレパートリーの広さも本コースの自慢ですから、研究の過程で特定の言語についての情報やデータが得たいとき、その手助けだけでなく、「この言語のデータも見てみたら？」というような助言も受けられるでしょう。このような環境が、あなたの研究テーマをより広く深いものにしてくれるはずです。

本コースの特色 教育指導体制

扱う言語

欧米系：英語、ドイツ語、フランス語、スペイン語、ロシア語

東アジア系：日本語、中国語、広東語、台湾語、韓国語、ベトナム語、...

分野・理論・枠組み

音声学、音韻論、形態論、統語論、意味論、語用論、談話分析、文字、...

生成文法、認知言語学、心理言語学、言語教育、社会言語学、記述言語学、計量・計算(機)言語学、...

- ✓ 多様な研究対象・アプローチ・構想
- ✓ 理論はA先生、研究対象言語はB先生に指導をお願いすることも可能
- ✓ 言語科学と言語態にまたがる視座も歓迎
- ✓ 各種ラボスペースや実験機器も利用可能

本コースの特色 教育指導体制

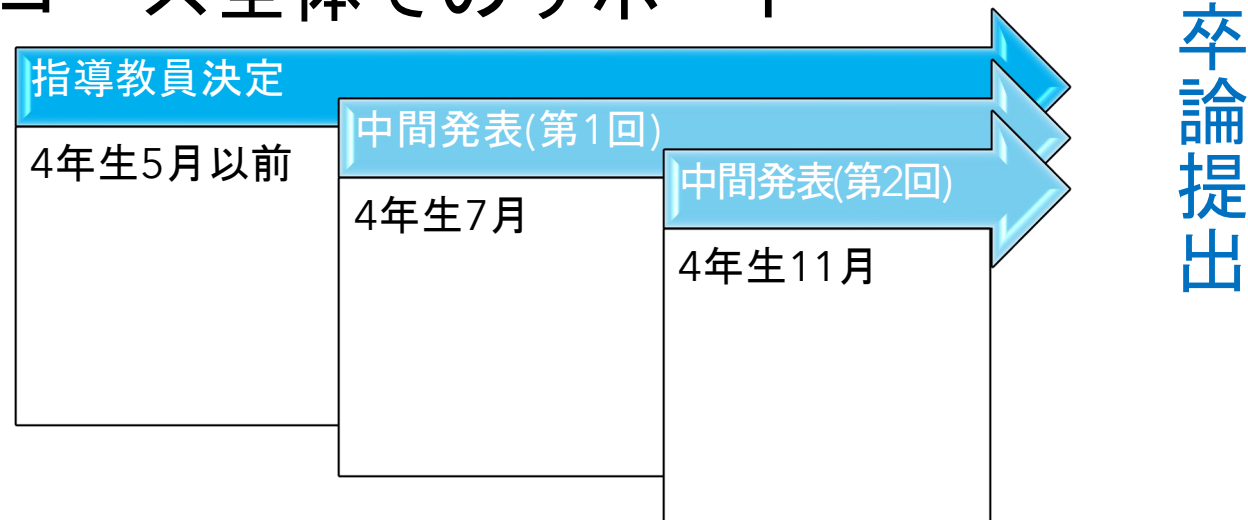
- 手厚い指導体制（教育指導）
 - 専門分野の隣接する、あるいは互いに補うスタッフがチームを組んで指導する体制が整いやすく、幅広い学生の興味に対応可能だということも本コースの大きな魅力です。理論の専門家と特定の言語の専門家といったチーム構成、あるいは理論と方法論、理論と教育への応用、といったような専門家の組み合わせにより、より質・価値の高い研究を目指すことが可能です。

本コースの特色 教育指導体制

- 手厚い指導体制（カリキュラム）
 - カリキュラム設計にも本コースでは工夫を重ねています。「学部で言語学を勉強しました」と世界中のどこで言っても恥じないだけの基礎知識を固める。さらに言語学のさまざまな分野を概観してもらう。この両方が意識された必修科目ラインナップになっています。もちろん選択科目も各分野にわたって充実していますので、期待してください。

本コースの特色 教育指導体制

- 卒論にむけてコース全体でのサポート



- 卒論の進捗について、指導陣チーム以外の教員からのアドバイスを定期的に受ける機会も設けられています。

本コースの特色 開講科目

・必修 科目

科目名	履修に適した 年次・学期	目的	内容
言語科学への招待	2年A (2単位)	本コース教員が関 わる学問諸分野に おける基本的枠組 みを理解する	リレー講義 俯瞰型
基礎言語理論Ⅰ： 形の体系	2年A2T (1単位)	経験科学としての 言語研究への導入 を担う 言語分析の基礎を 学ぶとともに具体 例の学習を通じて 分析や議論の技術 を身につける	理論（形態論・ 統語論）
基礎言語理論Ⅱ： 意味の体系	3年S1T (1単位)		理論（意味論・ 語用論）
基礎言語理論Ⅲ： 音の体系	3年S1T (1単位)		理論（音声学・ 音韻論）
言語データ分析基礎	2年A2T (1単位)		統計手法分析

本コースの特色 開講科目

- 発展的学習のための選択科目（院との合併科目）

科目名	開講学期	内容
言語理論Ⅰ	S	統語論
言語理論Ⅱ	A	音韻論
言語理論Ⅲ	S	認知意味論
言語理論Ⅳ	A	形式意味論

本コースの特色 開講科目

- 多様な選択科目

言語と人間Ⅰ	言語と人間Ⅱ
言語の変異・変化Ⅰ	言語の変異・変化Ⅱ
言語の対照と類型Ⅰ	言語の対照と類型Ⅱ
言語情報処理Ⅰ	言語情報処理Ⅱ
言語と社会Ⅰ	言語と社会Ⅱ
言語と認知Ⅰ	言語と認知Ⅱ
日本語学Ⅰ	日本語学Ⅱ
言語教育・学習論Ⅰ	言語教育・学習論Ⅱ
言語文化横断論演習	言語構造論特殊演習
個別言語特殊演習	原典講読特殊演習
言語科学特殊演習	言語科学特殊講義
言語の認知科学Ⅲ（→学融合プログラム。ターム開講）	

本コースの特色 卒業後の進路

- 卒業生の就職先や進学先
 - 将来研究者をめざす人たちに、学術としての言語研究との良き出会いをしていただくための体制はもちろんですが、さっそく社会に出て活躍したいという人たちもしっかりサポートしています。
 - 本コースでは外国語教育から言語工学技術まで、社会での実践に役立つ専門知識を備えたスタッフも充実しており、教育、マスメディア、情報系分野をはじめとした多様な業界で活躍する卒業生も多く輩出しています。

本コースの特色 他の学内組織との連携

- もとより教養学部では、学科やコースを横断する、いわゆる「横のつながり」を意識した設計がなされていますが、学際言語科学では特にこうした、コースを越えた支援体制に力を入れています。
- 具体例として、大学院の言語情報科学専攻内に本コースと言語態・テキスト文化論コースがあり、両方のスタッフが共存しています。言語学・文学両方の領域にまたがる研究も可能なのも本コースの強みです。
- さらに学科の枠をも超え、広域科学専攻と共同で運営している進化認知科学センターのラボスペースや実験機材を利用したり、アドバイスや指導を受けたりもできます。

利用できる施設・設備

① 18号館サウンドラボ（言語情報科学専攻実験研究設備）



利用できる施設・設備

② 18号館情報解析室（言語情報科学専攻教育研究設備）



✓コーパスなど各種言語資源の管理・統計等の有料ソフトウェアの提供も

利用できる施設・設備

③ 8号館書庫(言語情報科学専攻教育研究設備)



- ✓ 授業の予習復習に欠かせない基本図書を所蔵

④ 8号館コモンルーム(言語情報科学専攻教育研究設備)



- ✓ 研究作業だけでなく憩い・情報交換のスペース

利用できる施設・設備

⑤ 進化認知科学センター（広域科学専攻と連携）で利用できる実験研究設備



脳波測定室／認知心理実験室

脳波測定室は、脳波 (EEG) を測定するための部屋で、電子機器などによるノイズを抑えるための電磁シールドが全面に施されています。壁面には簡易防音が施され、実験に使用する外部機器との接続も可能です。認知心理実験室は、電磁シールドを除き、脳波測定室とほぼ同じ形状をしています。



行動観察室／操作室

行動観察室には自然光を取り込む窓があり、実験協力者に心理的負担をかけにくい特殊カメラが 2 カ所に配置され、天井にはマイクとスピーカーが埋設されています。これらの映像と音声は隣接した操作室で確認、記録することができます。また、観察室と操作室の間にはマジックミラーが設置されています。

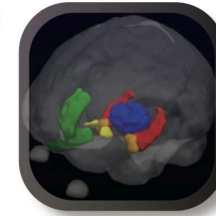


乳幼児実験／観察室

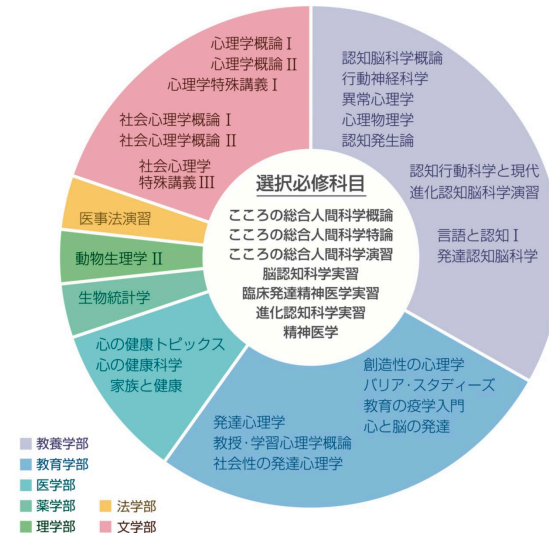
主に乳幼児を対象とした研究調査に用いるための部屋です。簡易防音室になっており、非接触型の視線計測器 (Tobii) やビデオカメラなどが設置されています。明るい色調の前室にはお子さんと保護者の方がリラックスできるようソファやぬいぐるみを用意し、子ども部屋をイメージした空間になっています。

関連するプログラムの紹介

こころの総合人間科学 教育プログラム



「こころ」については、ヒトや動物の認知情報処理過程から、うつ、いじめなどの問題、自我、価値観などヒトの成熟過程まで、様々な側面から幅広い分野で研究が行われています。各研究分野はそれだけで完結せず、他分野との融合によって発展していきます。本プログラムでは、学内のこころの科学にかかわる教員が結集し、部局を超えた最先端のこころの総合的人間科学教育を提供します。こころの多様性と適応に関心のあるすべての皆さんの受講を歓迎します。



● プログラム概要

本プログラムは、選択必修科目と選択科目からなります。選択必修科目は、「こころ」について分野横断的に学ぶためのコア講義・実習7科目、選択科目は、様々な専門分野における「こころ」についての講義・実習28科目からなります。

● 科目群

【**選択必修科目**】こころの総合人間科学概論 / こころの総合人間科学特論 / こころの総合人間科学演習 / 脳認知科学実習 / 臨床発達精神医学実習 / 進化認知科学実習 / 精神医学(隔年開講)

【**選択科目**】認知脳科学概論 / 行動神経科学 / 異常心理学 / 心理物理学 / 認知発生論 / 認知行動科学と現代 / 進化認知脳科学演習 / 言語と認知 I / 発達認知脳科学 / 教授・学習心理学概論 / 発達心理学 / 社会性の発達心理学 / 創造性の心理学 / バリア・スタディーズ / 教育の疫学入門 / 心と脳の発達 / 心理学概論 I・II / 心理学特殊講義 I / 社会心理学概論 I・II / 社会心理学特殊講義 III / 医事法演習 / 動物生理学 II / 生物統計学 / 心的健康科学 / 心的健康トピックス / 家族と健康

● 履修・修了要件

【**対象**】学部後期課程の学生(内定生を含む)が対象ですが、大学院学生も受講できます。

【**履修**】選択必修科目6単位、選択科目6単位(選択必修科目のうち必要単位数を超えて取得した単位は算入可能)、計12単位以上を取得した学生に修了証を交付します。個別の科目のみを履修することも歓迎します。詳細はホームページをご覧ください。

GS&GSA

Global Studies & Global Studies in Asia
The University of Tokyo, Komaba

東京大学の学生の皆さんへ

グローバルスタディーズ(GS)とは

学融合プログラム・グローバルスタディーズ(GS)は、文化・社会背景の異なる学生たちと共に学び、活動する場を通して、国際的な視野を身に付けた、多言語、多文化の中で活躍できる人材を育成することを目指しています。GSでは、世界各地からの交換留学生、特にGSの姉妹プログラムであるGlobal Studies in Asiaプログラム(GSA)の学生と共に学び、各種イベントに参加し、それらを共に企画する機会を得ることができます。交換留学生も皆さんとのこうした交流に高い期待を寄せています。

GSの授業は一部を除いてGSAと共通であり、その殆どが英語で行われ、英語以外の外国語での授業も若干数開講されます。内容は文系から理系まで幅広く、これらを履修することで、駒場キャンパスにいなから海外の大学での学びに近い体験を得ることが可能です。また将来留学を希望する学生は、世界各地から訪れる留学生達から学生目線での生きた情報を収集することもできるでしょう。

原則としてGSは教養学部後期課程生のみが正規登録・修了できるプログラムですが、各種の関連活動は東京大学の学生であれば、学年や所属を問わず、誰でも参加することができます。



学融合プログラム グローバルスタディーズ(GS)へのご招待

本プログラムでは英語やその他外国語で行われる、主に留学生向け科目を多数提供しています。履修生の大部分は世界中の提携校からの留学生ですので日本にいなから「海外の大学で学ぶ」経験ができるのです。世界各国からの留学生が、みなさんと同じ教室で学ぶことを楽しみにしています。授業だけでなく、ともにイベントを企画する機会も多数あります。

後期課程・教養学部に進学後、学融合プログラムグローバルスタディーズに登録（「**正規登録**」）して所定の単位要件を満たせば、国際的な場で活躍できる経験と能力を示す修了証を手になれます。

一方、教養学部3、4年生以外の（つまり学融合プログラムグローバルスタディーズに正規登録できない）方でも、所属学年問わず「**メンバー登録**」することによりGSメンバーとともに各種イベントに参加いただけます。

1, 2年生の方でもいますぐどうぞ!

詳しくは本資料および↓こちらのwebsiteをご覧ください

<https://www.globalkomaba.c.u-tokyo.ac.jp/outbound/gs/>

お問い合わせはこちらまで
グローバルスタディーズ専門委員会
駒場キャンパス 21KOMCEE West B1
gs-gsa@global.c.u-tokyo.ac.jp

教養学部後期課程 学融合プログラム グローバルスタディーズ(GS)に正規登録すると

左ページの「すべての学生が参加できる活動」への参加に加えて、GSの修了要件を満たす14単位を取得した場合、GSの修了証が授与されます。これは、東京大学教養学部学融合プログラムとして、修了生が国際的な場で活躍できる能力と経験を備えた人材であることを裏付けるものです。

教養学部後期課程生の学融合プログラムGSの修了要件とは

当該プログラムの科目から14単位以上取得のこと。(授業科目群ごとに定められた「取得すべき最低単位数」を含む。)

	授業形態および単位数			取得すべき 単位数
	講義	演習	実験実習	
グローバル教養実践演習		2		2
グローバル教養特別講義I	2			2
グローバル教養特別講義II	2			
グローバル教養特別講義III	2			
グローバル教養特別演習I		2		14
グローバル教養特別演習II		2		
グローバル教養特別演習III		2		
グローバル教養特別演習IV		2		
グローバル教養特別演習V		2		
後期国際研修		2		2※
海外研修I		1		
海外研修II		2		
海外研修III		3		
海外研修IV		4		

※の2単位に関しては、教養学部便覧(後期課程)内の各学科等教務関係内規(4)学融合プログラムのグローバルスタディーズプログラム部分で必ず詳細を確認して下さい。

教養学部後期課程生が学融合プログラムGSに正規登録するには

左ページのメンバー登録をすると同時に、「学融合プログラム届」を提出する必要があります。

ステップ1 「学融合プログラム届」の用紙を教務課後期課程係窓口、
或いは教養学部後期課程生向けウェブサイトでダウンロード
して入手する。

ステップ2 「学融合プログラム届」にコース主任の許可印を貰う。

ステップ3 「学融合プログラム届」に学融合プログラムの主任印を貰う。

ステップ4 「学融合プログラム届」を教務課窓口に提出する。

なお、正規登録はしたが最終的には修了しないという選択もあり得ますので、興味があればいつでも正規登録をすることをお勧めします。
メンバー登録及び正規登録に関する質問は、裏面の連絡先にお問合せ下さい。

←これら14単位は卒業単位とは独立して取得する必要はありません。卒業単位にカウントすることもできます。

後期課程内定後(2年生Aセメスター)から単位取得を開始できます。

※の2単位について等、修了要件の詳細についてご不明な点があれば、詳しくは下記までお問い合わせください。

グローバルスタディーズ専門委員会
駒場キャンパス 21KOMCEE West B1
gs-gsa@global.c.u-tokyo.ac.jp

すべての学生が参加できる活動

(メンバー登録は学融合プログラム・グローバルスタディーズ(GS)の修了を必ずしも目的としたものではありません)

各種イベントの参加・企画

学年や所属を問わず、GSにメンバー登録することで、GS主催の各種イベントに参加したり、またイベントの企画や運営に携わることができます。魅力的な企画を実現するためにGSの担当者が各種サポートを行います。(過去の企画イベント例は下をご覧ください)

授業履修

後期課程への進学内定生からGSの授業を単位履修することができます。また、GSの授業の多くは「専門英語」や一部のコースの選択科目としても開講されていますので、教養学部後期課程以外の学生やGSに正規登録しない学生も、それらの科目として履修することが可能です。

学年・所属を問わずGSにメンバー登録するには

右のQRコードを使用し、登録フォームに必要事項を入力の上、送信して下さい。

メンバー登録フォーム

<http://www.globalkomaba.c.u-tokyo.ac.jp/cypochi/form/pc/gkomaba000220.html>



過去に開催したイベント例(学期ごとに変更あり)

- | | |
|----------------------------|-----------------------------|
| 教養学部卒業生による
グローバルキャリア座談会 | 香港情勢の専門家による
緊急報告会 |
| 留学生との書評合戦
"ミニ・ビブリオバトル" | 東京の多様化について
関連業界団体との意見交換会 |
| 新聞や雑誌等メディアの
編集長を招いての講演会 | 政府招聘の米国・カナダの
大学生との交流会 |
| 留学生と行く相模部屋朝稽古見学 | GS&GSA顔合わせ会 |
- 等



▲政府機関招聘の米国・カナダの大学生との交流会



▲ミニ・ビブリオバトル



▲教養学部卒業生によるグローバルキャリア座談会

質疑応答の日時と参加方法

- 日時
 - 第1回 2020年5月11日（月） 12:20 ～ 12:50
 - 第2回 2020年5月15日（金） 19:00 ～ 19:30
 - 第3回 2020年5月22日（金） 12:20 ～ 12:50
 - 第4回 2020年5月26日（火） 19:00 ～ 19:30
- 形態 Zoomを使用
- 参加方法 <https://forms.gle/R1DecjQ7uvxirgu39>
 - アンケートに電子メールアドレスを記して、送信してください。本コースのスタッフからの返信にてzoomのIDとPWをお知らせします。